

日本労働ペンクラブ2025年度労働遺産認定（2026年度総会認定）ご説明資料

2026年1月 日本労働ペンクラブ

日本労働ペンクラブは創設40周年の新規事業として、2022年度総会より「労働遺産認定事業」を開始しました。労働者の権利の確立、労働条件の向上、雇用の改善、生産性向上などに寄与したと認められる組織、活動、遺構、記念碑、歴史的文書類等について、その意義と価値を認識し、継承・保全することの重要性を広く社会に発信し、働く現場の歴史を後世に伝承することを目的とした事業です。本日の総会において、下記2件8点の事跡について、労働遺産に認定いたしました。（累計で10件33点）

労働遺産第9号「あゝ野麦峠、殖産興業を支え近代化の礎となった製糸工女の故郷飛騨への道」

- ①旧野麦街道（ワサビ沢から頂上に至る1,300m）と製糸工女の峠越えの苦難を伝える石碑・石像（松本市）
・乙女地藏尊、「山本茂実を偲んで」碑、句碑
認定証交付先：松本市

- ②製糸工女の峠越えの苦難を伝える石碑・石像（高山市）
・石碑あゝ野麦峠、政井みね之碑、お助観音、政井兄妹像、地藏堂
認定証交付先：高山市

- ③工女宿宝来屋
認定証交付先：松本市

- ④野麦峠まつり（松本市／高山市）
認定証交付先：野麦峠まつり実行委員会（松本市）、飛騨高根野麦峠まつり実行委員会（高山市）

明治初め、全輸出額の60%以上が蚕糸類だったが、明治末期以降、輸出が飛躍的に拡大する中でも3分の1を下回ることにはなかった。生糸生産は原料、技術をすべて国内で賄うことができ、殖産興業の原資となる外貨を稼ぎ出した。

こうした製糸産業を支えたのが、繭から糸を繰り出す「工女」である。飛騨の糸引き工女は約160キロの道のりを岡谷に向かったが、標高1,672mの野麦峠はその難所で、年末の帰郷では、ワラジで雪と氷の峠を越える工女の足は、凍った衣類で傷つけられ、凍傷にふくれ、谷底に滑り落ちて命を落とす者も多かった。

①と②は峠越えの苦難を偲ぶ重要な史跡だが、句碑、お助観音、政井兄妹像は「野麦峠」が一般の人の心を動かして建立に駆り立てたものである。今日、なお多くの者の関心を引き付けてやまないが、そうした事実こそ、「労働遺産」に相応しいことを示している。

④は「野麦峠」の史実を現代に、とりわけ子どもたちに伝える貴重な行事であり、労働遺産としてはじめての無形遺産となる。



労働遺産第10号「戦時徴用船と船員の悲劇を伝える手記原稿、装備品、絵画および戦没船員の碑」

- ①全日本海員組合編『海なお深く 徴用された船員の悲劇』体験手記原稿
認定証交付先：全日本海員組合

- ②第2次世界大戦で徴用された民間戦没船の装備品・三星丸食器類、八仁丸舵輪金具、笠置山丸船長印、神仙丸日章旗
認定証交付先：全日本海員組合

③『画集戦時徴用船の最期』原画37枚

認定証交付先：株式会社商船三井

④戦没船員の碑

認定証交付先：公益財団法人日本殉職船員顕彰会

第2次世界大戦の戦没者約310万人の中には「働く現場」で亡くなった民間人も多数含まれているが、とりわけ徴用船員については、

- ・死亡船員は6万人に達し、うち3分の1が14～19歳であったこと
- ・船員の死亡率が海軍軍人の2倍以上であったこと
- ・遭難体験船員も、のべ15万人に達していること
- ・日本が制海権・制空権を失い、事実上、護衛艦もつかない中で打ち沈められていったこと
- ・終戦から今日に至るまで、商船業界、水産業界、労働組合を挙げて戦没船員の追悼に力を注ぎ、資料の収集・保存、記録の整備に努めていること

などから、戦没船員は「働く現場」における多くの戦争犠牲者を象徴する存在、戦争という特殊な状況下における重大かつ膨大な労働災害と言える。その悲劇を伝える諸資料は、労働の尊厳を高め、民主国家・平和国家を育てるための貴重な歴史・教訓であり、「労働遺産」に相応しいものである。



これまでの日本労働ペンクラブ認定労働遺産一覧（8件25点）

登録内容	認定遺産	労働遺産認定証交付先	所在地
2022年度総会認定			
1. 川崎・三菱大争議など大正時代の関西労働運動の記録	友愛会関西労働同盟会機関紙「労働者新聞」	法政大学大原社会問題研究所	東京都町田市
	「神戸川崎・三菱大争議の実写フィルム」		
	「死線を越えて」（草稿・賀川豊彦著） 賀川豊彦生誕100年記念碑	賀川豊彦記念松沢資料館 賀川記念館	東京都世田谷区 神戸市
2. 日本の近代的労働運動発祥の地に関する記念碑と遺構	日本労働運動発祥之地「石碑」 「惟一館」（初期労働会館）の煉瓦塀の一部と煉瓦	一般財団法人日本労働会館（管理者：友愛労働歴史館）	東京都港区
2023年度総会認定			
1. わが国における「8時間労働制」の実施発祥の地	①『総業中松方社長對職工側委員見録並営業時間及賃銀改正ニ關スル顛末』川崎造船所[編][1919]	神戸大学社会科学系図書館 大阪公立大学杉本図書館	神戸市 大阪市
	②「八時間労働発祥之地」の記念碑	一般社団法人兵庫労働基準連合会	神戸市
2. 戦前実業家の労働理想主義による労働環境改善と社会貢献（大原孫三郎等）	(1)工場の作業環境改善と労務管理近代化での一連の遺物・資料 ①作業環境改善：粉塵・空気成分測定器、大型呼気ガス分析器、肺活量計 ②福利厚生改革：分散式家族的寄宿舎設計図	倉敷紡績株式会社倉紡記念館	岡山県倉敷市
	(2)「労研」と「大原社研」創設期の資料と遺構等 ①「労働科学研究」第1巻第1号 ②「労働科学研究所」看板 ③「日本労働年鑑」第1巻第1号、「大原社会問題研究所雑誌」第1巻第1号 ④大原社会問題研究所の大阪時代の跡地を示す壁面プレートと記念碑 ⑤石井記念愛染園発祥の地「石碑」		
		調整中	大阪市
		社会福祉法人石井記念愛染園	大阪市
2024年度総会認定			
1. 法定最低賃金全国第一号の記録	最低賃金全国第一号記念碑ならびにそれを裏付ける文書資料 ・最低賃金全国第一号記念碑 ・文書資料：静岡缶詰協会に対する感謝状（労働大臣石田博英）	一般財団法人清水港湾博物館 一般社団法人静岡缶詰協会	静岡市 静岡市
2. 珪肺治療発祥の地の珪肺法成立記念碑	珪肺法成立記念碑	調整中	栃木県日光市
2025年度総会認定			
1. 日本の近代的労働運動の先駆者が残した「友愛会綱領」及びその関連資料	友愛会綱領 日本労働総同盟綱領 友愛会勧誘のチラシ 「鈴木文治ここに生る」碑	調整中	宮城県栗原市
2. 安全衛生運動のあけぼのの記録	足尾銅山「安全専一」標示板 足尾銅山『安全専一』冊子	古河機械金属株式会社	栃木県日光市
	安全第一協会機関誌（月刊）『安全第一』全24冊	（独法）労働政策研究・研修機構	東京都練馬区